

2013年4月22日

環境アセスメント学会会員 及び 関係者 各位

環境アセスメント学会 企画委員会
委員長 片谷 教孝

第11回公開セミナーのご案内・申込み

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、2013年度総会と併せ、下記のとおり公開セミナーを開催しますので、ご案内申し上げます。

ご参加につきましては、資料等の準備の都合上、下記の申込み用紙にご記入のうえ、5月13日までに office@jsia.net へお申込みください。資料のみの申し込みも受け付けます。 敬 具

< 記 >

- 日時：2013年5月18日（土）14:00～17:30
- 場所：明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー1階 1011 教室
(東京都千代田区神田駿河台 1-1)
アクセスガイド http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html
- 参加費：会員無料、会員外は1,000円（資料代として）。資料のみ申込みの場合、会員、会員外とも、別途送料300円を申し受けます。
- テーマ：「風力発電施設に係る環境影響評価の現状と課題—今後の方向性について—(仮題)」

【コーディネーター】片谷 教孝 (桜美林大学)

【趣旨】 風力発電施設に係る環境影響評価の基本的考え方に関する検討会報告書では、風力発電を取り巻く環境状況について、主に、「景観、騒音等、シャドウフリッカー及び動植物生態系」等の影響評価を検討してきた。多くの事例等から、それらの環境影響が明らかになりはじめ、結果的に、環境影響評価法の一部改正に至った。風力発電所事業も法対象となり、本格施行されて、調査・予測・評価あるいは事後調査がなされてきている。本施設の環境影響評価には、新たな科学的知見が明らかになっていない不確実な項目もあり、事後調査が重要となっている。

本公開セミナーは、風力発電施設に係る環境影響評価に携わっている方々に現状に課題を含めて講演いただき、更に、議論を深めて頂くために2名の方々に協力頂き、「風力発電施設に係る環境影響評価の現状と課題—今後の方向性について—」として、参加者とともに議論をする。

- 【講演1】「風力発電の法アセス対象追加と環境省の取組」 上田健二 (環境省)
- 【講演2】「生物多様性保全からみた風力発電事業」 吉田正人 (筑波大学)
- 【講演3】「騒音等の影響評価」 塩田正純 (元工学院大学)
- 【講演4】「海外事情から見える課題」(仮題) 鈴木章弘 (風力エネルギー研究所)
- 【講演5】「風力発電事業について—環境影響評価法対象事業となって—」
齊藤 長 ((一社)日本風力発電協会)

【パネルディスカッション】「(仮題) 風力発電施設に係る環境影響評価の課題と今後」

【パネリスト】パネリスト (講演者を含む)

作本 直行 (海外関係：JETRO)

會田 義明 (環境コンサルタント；東京久栄)

以 上

.....
(環境アセスメント学会 事務局) office@jsia.net fax 03-3296-2682

第11回 公開セミナー 当日参加の申込み

参加者	計 名
所 属	

第11回 公開セミナー 資料のみ送付の申込み

申 込 者	申込部数	部
所属 (部署)		
送り先 住所		
電話&Fax		

注) 代金は送付資料とともに同封される郵便払込取扱票にてお支払い下さい。